

令和元年度 施策評価シート（平成30年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 03 道路網・公共交通体系の整備
主管課： 建設課
関係課： 企画課、都市計画課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） 市民が安全で快適に移動できるまちをつくる。
------------------------	--

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

市内の道路は安全に通行できると感じている市民の割合（％） 建設課					
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
71.70	77.90	74.50	75.00	75.00	75.00
向上指針	上がると良い	（状況）平成30年度の市内の道路は安全に通行できると感じている市民の割合は、74.5%で、昨年度と比較し、3.4ポイント減少していますが、ほぼ横ばい傾向にあります。 （原因）毎年、交通安全施設整備事業により危険個所の改善を実施するとともに、竜ヶ崎工事事務所や取手警察署と連携し通学路安全点検により、危険個所を把握し安全対策を進めていることが考えられます。			
対前年度	低下				
目標達成度	高				
次年度課題	課題としない				

公共交通に対する市民の満足度（％） 都市計画課					
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
48.60	49.30	48.40	50.00	55.00	57.00
向上指針	上がると良い	（現状）前年度より0.9ポイント減少したが、ほぼ横ばい傾向にあります。 （原因）バスに関しての不便さが原因と考えられます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	513,826	847,873	839,001	1,297,067	1,298,836
人件費	47,163	65,661	73,104	0	0
トータルコスト	560,989	913,534	912,105	1,297,067	1,298,836

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
01 未改良道路の整備	向上	向上				121, 992	114, 998	136, 187	518, 963	518, 963
02 道路の適切な維持管理	向上	向上				201, 768	386, 028	267, 615	415, 845	419, 971
03 都市計画道路の整備	向上	横ば				93, 544	247, 071	334, 402	285, 661	285, 421
04 公共交通網の充実	向上	向上	横ば	横ば		92, 038	94, 660	95, 252	66, 929	64, 787
99 施策の総合推進						4, 484	5, 116	5, 545	9, 669	9, 694

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

通学路の安全確保を図るため、引き続き都市計画道路坂町清水線の整備を推進する。橋梁長寿命化修繕計画に基づき、適切に橋梁の修繕を進める。 公共交通については、新たな手段を導入し、交通体系の再編による運行を開始するとともに検証に努める。 つくばエクスプレスについては、更なる利便性向上を図るため、沿線自治体と連携し、混雑緩和対策となる増便の早期実施を要望するとともに、8両編成化や東京駅延伸の実現に向けて調査を実施する。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

都市計画道路坂町清水線、みずき野大日線は、国庫補助金の採択率が低いことから、土地開発公社の活用により用地取得を行っていますが、さらに事業を推進し、早期開通を図る必要があります。また、平成30年度において、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、山王歩道橋を修繕した。つくばエクスプレスの東京駅延伸や8両編成化を引き続き鉄道会社や国等へ働きかけを行い、早期実現を図る必要があります。バス交通については、平成30年7月に策定した守谷市地域公共交通網形成計画に基づきモコバス路線の見直しを行い、また、新たな交通手段としてデマンド乗合交通の導入準備を行いました。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

次年度の方向性（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

都市計画道路については、土地開発公社を活用し、用地の取得を進めます。また、次年度について、坂町清水線の一部工事に着手します。さらに、西荻久保橋の修繕を実施します。 つくばエクスプレスについては東京駅延伸、8両編成化の早期実現や通学定期割引率の拡大について引き続き鉄道会社や国等へ働き掛けていきます。 バス交通については、平成31年4月より新たなモコバス路線や新たな交通として導入したデマンド乗合交通について、利用実態等を元に効率的で利便性の高い交通を目指します。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加